

3学期始業式 ～2022年のはじまり



明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願いいたします

今日から3学期が始まりました。
コロナ禍の中で迎える2度目の新年となり、校内放送を通じて始業式を行いました。
12月24日の終業式では、この年末年始休業中に10年後の社会の様子と自分自身の姿を想像してみよう、という宿題を出しました。

SDGsをはじめ多くの計画が2030年を目標に進行しています。かつてはSF小説の題材だったような技術が現実になりつつある一方で、日本では人口減少と高齢化が加速し、人口の3分の1が65歳以上の高齢者になる2030問題も指摘されています。

どんな未来がやってくるにせよ、10年後は20代後半に差し掛かっている高校生の皆さんは、その後の社会を担っていく貴重な人たちです。自分自身の未来と共に、世界の未来も考えられる広い視野を持ってほしいと願っています。

高校生の皆さんに大いに関係する変化としては、成年年齢の18歳への引き下げが4月1日に実施されます。新年度からは、3年生の教室に成年となった生徒が混在することになります。自分の頭で考え自らの責任において判断し行動すること。大人への道のりは長く遠い！



そして、本校にとってもこの2022年は重要な年になりそうです。令和3年度入試での定員割れは本校にとって大きな衝撃でしたが、現在の小6児童から始まる急激な生徒数の減少を前に、旧来の学校のあり方を見直す時期にきていることが明らかとなりました。2023年の創立100周年に向けて、正念場の1年です。

◆始業式で話題にした 2030年頃には実用化しそうな科学技術

- ・料理を出力できる3Dフードプリンター
- ・息のにおいで病気を発見する技術
- ・人間の代わりに働くバーチャルヒューマン

◆2050年頃には実現するか？

人が身体的、空間的、時間的な制約から解放されて自在に活躍できるアバター共生社会の実現

2021年12月 忘年会が消えた2度目の年末
教頭の発案で本校の10大ニュースと今年の漢字を
決定しました
本校職員が選んだ2021年の漢字は「再」
いろいろな意味が込められています

